

一級河川の整備事業を紹介します

災害に強いまちづくりを目指して、河川の整備事業を実施

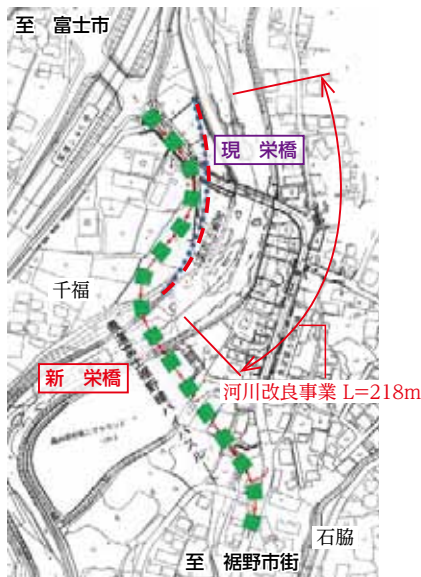
市では、防災・減災のため、緊急輸送路上の橋梁^{きょうりょう}の耐震補強などの修繕を行っています。県が管理する一級河川の黄瀬川と大場川は、沼津土木事務所と連携し河川改良工事を行っています。

建設管理課
☎995-1855

一級河川黄瀬川 河川改良事業 主要地方道 富士裾野線 栄橋^{きょうりょう} 橋梁改築事業

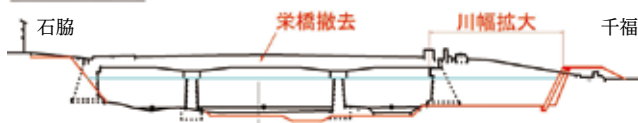
一級河川黄瀬川は、石脇・千福地先の主要地方道富士裾野線の栄橋付近で川幅が狭くなっています。過去には周辺家屋で浸水被害がありました。

栄橋は、昭和8年に架けられてから80年以上が経過しているので、老朽化が進んでいます。栄橋を約150m下流に架け替えて黄瀬川を広げ治水能力を上げ、富士裾野線のバイパスを造り、安全・安心な道路にします。



事業期間▶平成25年度～平成32年度（予定）
河川改良延長▶218 m
道路新設延長▶452 m（うち橋梁部^{きょうりょう}46 m）

イメージ図



▲黄瀬川河川改良事業

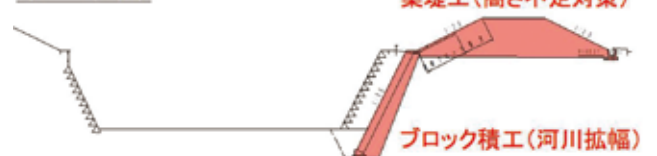
一級河川大場川 河川改良事業

麦塚地区を流れる一級河川大場川は、局所的に幅が狭いため、豪雨などによる氾濫で周辺の田畑が浸水するなどの災害が発生しています。既設のブロック積を改修し川幅を広げる工事と、堤防の高さを上げる工事を実施し、浸水被害の軽減と治水安全度の向上を図ります。

事業期間▶平成25年度～平成30年度（予定）
河川改良延長▶220 m



イメージ図



▲大場川河川改良事業